

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/005753

International filing date: 28 March 2005 (28.03.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-105857
Filing date: 31 March 2004 (31.03.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 20 May 2005 (20.05.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 4 年 3 月 3 1 日

出 願 番 号
Application Number: 特 願 2 0 0 4 - 1 0 5 8 5 7

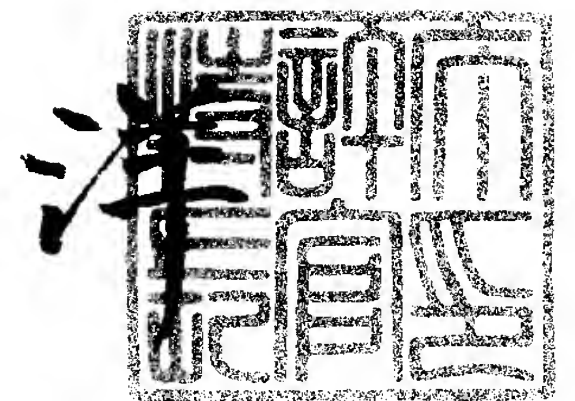
パリ条約による外国への出願
に用いる優先権の主張の基礎
となる出願の国コードと出願
番号
J P 2 0 0 4 - 1 0 5 8 5 7
The country code and number
of your priority application,
to be used for filing abroad
under the Paris Convention, is

出 願 人
Applicant(s): 松下電器産業株式会社

2 0 0 5 年 4 月 2 7 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川



【書類名】	特許願	
【整理番号】	2048160079	
【あて先】	特許庁長官殿	
【国際特許分類】	H04N	
【発明者】		
【住所又は居所】	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
【氏名】	岡本 隆一	
【発明者】		
【住所又は居所】	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
【氏名】	山本 雅哉	
【発明者】		
【住所又は居所】	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
【氏名】	東 吾紀男	
【発明者】		
【住所又は居所】	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
【氏名】	小野田 仙一	
【発明者】		
【住所又は居所】	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
【氏名】	徳田 克己	
【特許出願人】		
【識別番号】	000005821	
【氏名又は名称】	松下電器産業株式会社	
【代理人】		
【識別番号】	100109210	
【弁理士】		
【氏名又は名称】	新居 広守	
【手数料の表示】		
【予納台帳番号】	049515	
【納付金額】	21,000円	
【提出物件の目録】		
【物件名】	特許請求の範囲	1
【物件名】	明細書	1
【物件名】	図面	1
【物件名】	要約書	1
【包括委任状番号】	0213583	

【書類名】 特許請求の範囲

【請求項 1】

会員ユーザに配布される I C カードが挿入される I C カードスロットと、
前記 I C カードに予め保持されるユーザが属するグループを示す会員情報に基づいて、
動作モードを設定する動作モード設定手段と、
前記動作モード設定手段の設定結果に応じて、異なる態様でコンテンツを再生する再生手段と
を備えることを特徴とするコンテンツ再生端末。

【請求項 2】

前記動作モード設定手段は、さらに前記 I C カードスロットに対する I C カードの挿入状態に基づいて、動作モードを設定する
ことを特徴とする請求項 1 記載のコンテンツ再生端末。

【請求項 3】

前記再生手段は、
前記コンテンツを会員用の動作モードで再生するための第 1 アプリケーションプログラムを記憶する第 1 記憶手段と、
前記コンテンツを非会員用の動作モードで再生するための第 2 アプリケーションプログラムを記憶する第 2 記憶手段と、
前記設定結果に応じて前記第 1 および第 2 アプリケーションプログラムの何れかを選択する選択手段と、
前記選択手段により選択されたアプリケーションプログラムを実行することによりコンテンツを再生する実行手段とを備え、
前記第 1 アプリケーションプログラムは、会員用の装飾表示を前記実行手段に実行させる
ことを特徴とする請求項 1 記載のコンテンツ再生端末。

【請求項 4】

前記第 1 アプリケーションプログラムは、さらに会員用のグラフィカル・ユーザ・インターフェース表示を前記実行手段に実行させる
ことを特徴とする請求項 3 記載のコンテンツ再生端末。

【請求項 5】

前記再生手段は、
コンテンツを再生するためのアプリケーションプログラムを記憶する記憶手段と、
前記設定結果に応じて第 1 および第 2 表示データの何れかを選択する選択手段と、
アプリケーションプログラムを実行することにより、選択された表示データを用いてコンテンツを再生する実行手段とを備え、
前記第 1 表示データは、会員用の装飾表示用であり、
前記第 2 表示データは、非会員用の装飾なしの表示用である
ことを特徴とする請求項 1 記載のコンテンツ再生端末。

【請求項 6】

前記第 1 表示データは、さらに会員用のグラフィカル・ユーザ・インターフェース・データを含む
ことを特徴とする請求項 5 記載のコンテンツ再生端末。

【請求項 7】

前記 I C カードは、前記コンテンツを会員用の動作モードで再生するための第 1 アプリケーションプログラムを記憶する第 1 記憶手段を備え、
前記再生手段は、
前記コンテンツを非会員用の動作モードで再生するための第 2 アプリケーションプログラムを記憶する第 2 記憶手段と、
前記設定結果に応じて前記第 1 および第 2 アプリケーションプログラムの何れかを選択する選択手段と、

前記選択手段により選択されたアプリケーションプログラムを実行することによりコンテンツを再生する実行手段とを備え、

前記第 1 アプリケーションプログラムは、会員用の装飾表示を前記実行手段に実行させる

ことを特徴とする請求項 1 記載のコンテンツ再生端末。

【請求項 8】

前記コンテンツ再生端末は、さらに前記 IC カードスロットに挿入された IC カードに対して、どのような動作モードで動作すべきかを問い合わせる動作モード問い合わせ手段を備え、

前記 IC カードは、前記問い合わせがあった場合に、前記会員情報に基づいて動作モードを決定し、決定した動作モードをコンテンツ再生端末に対して指示する動作モード指示手段を備え、

前記動作モード設定手段は、前記動作モード指示手段が決定した動作モードの指示に基づいて、動作モードを設定する

ことを特徴とする請求項 1 記載のコンテンツ再生端末。

【請求項 9】

前記コンテンツ再生端末は、さらに前記 IC カードスロットに挿入された IC カードに対して、どのような動作モードで動作すべきかを問い合わせる動作モード問い合わせ手段を備え、

前記 IC カードは、

ユーザに対して付与された会員ポイントを記憶する会員ポイント記憶手段と、

前記会員ポイントの値に応じて付与されるステータスのルールを記憶するルール記憶手段と、

前記問い合わせがあった場合に、前記会員情報、前記開ポイントおよび前記ルールに基づいて動作モードおよび会員ステータスを決定し、決定した動作モードおよび会員ステータスをコンテンツ再生端末に対して指示する動作モード指示手段を備え、

前記動作モード設定手段は、前記動作モード指示手段が決定した動作モードおよび会員ステータスの指示に基づいて、動作モードを設定する

ことを特徴とする請求項 1 記載のコンテンツ再生端末。

【請求項 10】

会員ユーザに配布される IC カードに予め保持されるユーザが属するグループを示す会員情報に基づいて、動作モードを設定する動作モード設定ステップと、

前記動作モード設定ステップの設定結果に応じて、異なる態様でコンテンツを再生する再生ステップと

を含むことを特徴とするコンテンツ再生方法。

【請求項 11】

請求項 10 に記載されたコンテンツ再生方法に含まれるステップをコンピュータに実行させる

ことを特徴とするプログラム。

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ再生端末

【技術分野】

【0001】

本発明は、コンテンツを再生するDVDプレーヤなどのコンテンツ再生技術に関する。

【背景技術】

【0002】

近年、音楽や映像などのコンテンツのデジタル化に伴い、家電メーカーからコンテンツを再生するコンテンツ再生端末が発売されている。その一方、コンテンツの発売元や、コンテンツのレンタル業者は、コンテンツを購入するユーザや、コンテンツをレンタルするユーザを引きつけ、他と差別化を図るため会員制を採用し、特定サービスに加入している会員に対し、見栄えをよくしたり、操作性を向上させるような会員専用の特別な動作をするコンテンツ再生端末を提供しようとする動きがある。

【特許文献1】 先行技術を調査しましたが、見つかりませんでした。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、このような特定サービスの会員に対し、会員専用の特別な動作をするコンテンツ再生端末を提供しようとする場合、会員専用の端末を別途製造する必要がある。また、ユーザにとっても、会員専用の端末によって見栄えがよくなったり、操作性が向上したりする反面、一般用の端末の他、種々の会員専用の端末を使い分けしなければならないため、煩雑である。

【0004】

このため、ユーザが一般ユーザ（非会員）の場合、一般ユーザ用端末として動作し、ユーザが特定サービスの会員（例：映画会社A社会員、レンタル業者B社会員など）の場合、そのサービス会員用の専用端末として動作し、専用端末として差別化することもできるコンテンツ再生端末の出現が望まれる。

【0005】

そこで、本発明は、上述の課題を解決し、1つの端末で一般用の端末として動作したり、会員専用の端末として動作したりするような双方の動作を可能とするコンテンツ再生端末を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記目的を達成するために、本発明に係るコンテンツ再生端末においては、会員ユーザに配布されるICカードが挿入されるICカードスロットと、前記ICカードに予め保持されるユーザが属するグループを示す会員情報に基づいて、動作モードを設定する動作モード設定手段と、前記動作モード設定手段の設定結果に応じて、異なる態様でコンテンツを再生する再生手段とを備えることを特徴とする。

【0007】

これにより、1つの端末で一般用の端末として動作させたり、会員専用の端末として動作させたりするような双方の動作が可能なコンテンツ再生端末を提供することができる。

また、本発明に係るコンテンツ再生端末においては、前記動作モード設定手段は、さらに前記ICカードスロットに対するICカードの挿入状態に基づいて、動作モードを設定することを特徴とすることができる。

【0008】

これによっても、1つの端末で、双方の動作が可能なコンテンツ再生端末を提供することが可能となる。

また、本発明に係るコンテンツ再生端末においては、前記再生手段は、前記コンテンツを会員用の動作モードで再生するための第1アプリケーションプログラムを記憶する第1記憶手段と、前記コンテンツを非会員用の動作モードで再生するための第2アプリケーシ

ョンプログラムを記憶する第２記憶手段と、前記設定結果に応じて前記第１および第２アプリケーションプログラムの何れかを選択する選択手段と、前記選択手段により選択されたアプリケーションプログラムを実行することによりコンテンツを再生する実行手段とを備え、前記第１アプリケーションプログラムは、会員用の装飾表示を前記実行手段に実行させることを特徴とすることができる。

【０００９】

これにより、会員用の装飾表示で会員用専用端末として差別化することができる。

また、本発明に係るコンテンツ再生端末においては、前記第１アプリケーションプログラムは、さらに会員用のグラフィカル・ユーザ・インターフェース表示を前記実行手段に実行させることを特徴としてもよい。

【００１０】

これにより、会員用のグラフィカル・ユーザ・インターフェース表示で会員用専用端末として差別化することができる。

また、本発明に係るコンテンツ再生端末においては、前記再生手段は、コンテンツを再生するためのアプリケーションプログラムを記憶する記憶手段と、前記設定結果に応じて第１および第２表示データの何れかを選択する選択手段と、アプリケーションプログラムを実行することにより、選択された表示データを用いてコンテンツを再生する実行手段とを備え、前記第１表示データは、会員用の装飾表示用であり、前記第２表示データは、非会員用の装飾なしの表示用であることを特徴とすることもできる。

【００１１】

これにより、簡便に会員用の装飾表示で会員用専用端末として差別化することができる。

また、本発明に係るコンテンツ再生端末においては、前記第１表示データは、さらに会員用のグラフィカル・ユーザ・インターフェース・データを含むことを特徴としてもよい。

【００１２】

これにより、簡便に会員用のグラフィカル・ユーザ・インターフェース表示で会員用専用端末として差別化することができる。

また、本発明に係るコンテンツ再生端末においては、前記ＩＣカードは、前記コンテンツを会員用の動作モードで再生するための第１アプリケーションプログラムを記憶する第１記憶手段を備え、前記再生手段は、前記コンテンツを非会員用の動作モードで再生するための第２アプリケーションプログラムを記憶する第２記憶手段と、前記設定結果に応じて前記第１および第２アプリケーションプログラムの何れかを選択する選択手段と、前記選択手段により選択されたアプリケーションプログラムを実行することによりコンテンツを再生する実行手段とを備え、前記第１アプリケーションプログラムは、会員用の装飾表示を前記実行手段に実行させることを特徴とすることができる。

【００１３】

これにより、コンテンツ再生端末は外部から第１アプリケーションプログラムをダウンロードする必要がなくなり、コンテンツ再生端末の構成を簡素化することができる。

また、本発明に係るコンテンツ再生端末においては、前記コンテンツ再生端末は、さらに前記ＩＣカードスロットに挿入されたＩＣカードに対して、どのような動作モードで動作すべきかを問い合わせる動作モード問い合わせ手段を備え、前記ＩＣカードは、前記問い合わせがあった場合に、前記会員情報に基づいて動作モードを決定し、決定した動作モードをコンテンツ再生端末に対して指示する動作モード指示手段を備え、前記動作モード設定手段は、前記動作モード指示手段が決定した動作モードの指示に基づいて、動作モードを設定することを特徴とすることもできる。

【００１４】

これにより、動作モードの設定の確実化を図ることができる。

また、本発明に係るコンテンツ再生端末においては、前記コンテンツ再生端末は、さらに前記ＩＣカードスロットに挿入されたＩＣカードに対して、どのような動作モードで動

作すべきかを問い合わせる動作モード問い合わせ手段を備え、前記ＩＣカードは、ユーザに対して付与された会員ポイントを記憶する会員ポイント記憶手段と、前記会員ポイントの値に応じて付与されるステータスのルールを記憶するルール記憶手段と、前記問い合わせがあった場合に、前記会員情報、前記開ポイントおよび前記ルールに基づいて動作モードおよび会員ステータスを決定し、決定した動作モードおよび会員ステータスをコンテンツ再生端末に対して指示する動作モード指示手段を備え、前記動作モード設定手段は、前記動作モード指示手段が決定した動作モードおよび会員ステータスの指示に基づいて、動作モードを設定することを特徴とすることもできる。

【００１５】

これにより、同じグループ内の会員であっても、会員ステータスに応じた会員用専用端末として差別化することができる。

なお、本発明は、このようなコンテンツ再生端末として実現することができるだけでなく、このようなコンテンツ再生端末が備える特徴的な手段をステップとするコンテンツ再生方法として実現したり、それらのステップをコンピュータに実行させるプログラムとして実現したりすることもできる。そして、そのようなプログラムは、ＣＤ－ＲＯＭ等の記録媒体やインターネット等の伝送媒体を介して配信することができるのは言うまでもない。

【発明の効果】

【００１６】

以上の説明から明らかなように、本発明に係るコンテンツ再生端末によれば、会員専用の端末を別途製造したり、一般用の端末の他、種々の会員専用の端末を使い分けしたりする必要がなく、ユーザが会員カードをコンテンツ再生端末のＩＣカードスロットに差し込むことによって、その端末を、会員専用機として利用することが可能となる。

【００１７】

よって、本発明により、カードの挿抜等により１つの端末が一般用の端末に変身したり、会員用の専用端末に変身し、コンテンツの販売や、レンタルが普及し、専用端末として差別化を図ろうとする動きがある今日における本願発明の実用的価値は極めて高い。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１８】

以下、本発明の実施の形態について、図面を用いて詳細に説明する。

（実施の形態１）

図１は、本実施の形態１に係るコンテンツ再生端末に適用されるある会員システムの全体構成を示す図である。

【００１９】

この会員システムの会員サービス提供者（例えば、Ａ社）は、会員手続を行ったユーザに対し、サーバ１０を用いて、会員証データを格納した上でカード２０ａを発行する。

ユーザは、発行されたカード２０ａを、必要に応じて、コンテンツ再生端末３０ａのカードスロット３１に挿入する。

【００２０】

コンテンツ再生端末３０ａは、所定のタイミング（起動時、カード挿抜時など）で、カード２０ａに対しどのような動作モード（一般ユーザ用端末、Ａ社サービス会員用端末など）で動作すべきかを問い合わせる。

【００２１】

カード２０ａは、カード内の情報（会員証の有無、有効期限情報など）に基づいて、動作モードを決定し、決定した動作モードをコンテンツ再生端末３０ａに返信する。

コンテンツ再生端末３０ａは、カード２０ａからの返信結果に従って動作する。コンテンツ再生端末３０ａは、例えばＤＶＤプレーヤであり、上記カードスロット３１の他、ＤＶＤ４０をセットするトレイ３２等を備え、モニタ５０や、インターネット等のネットワーク６０を介してサーバ１０に接続される。そして、ＩＣカードスロット３１にカード２０ａが挿入されていない場合等のときには、コンテンツ再生端末３０ａは、一般用の端末

として動作し、ディスク未挿入時にはディスクの挿入を促す一般用のメッセージを単に表示するだけで、またディスク再生時には、一般用のコンテンツの再生画面だけを単に表示するだけで、DVD40に記録されたコンテンツ（例えば、魚を題材とした子供向けのコンテンツ「F i s h i n g △□×○」）を再生する。

【0022】

これに対して、ICカードスロット31にA社会員用のカード20aが挿入され、会員証が有効である場合等のときには、コンテンツ再生端末30aは、A社会員専用の端末として動作し、ディスク未挿入時にはA社のキャラクタ（例えば、「熊の○□さん」）がディスクの挿入を促すメッセージを話すように装飾表示する。また、ディスク再生時には、コンテンツ再生端末30aは、コンテンツの再生画面周囲を装飾するリボンを表示するとともに、プレーヤの操作をするためのGUIを表示する。

【0023】

なお、カード20aとして、ICカードの他、SDカード等の記憶媒体を備えるカードを用いることができる。

図2は、図1に示されるカード20aおよびコンテンツ再生端末30aの機能構成を示すブロック図である。

【0024】

図2に示されるように、コンテンツ再生端末30aは、通信部301と、ネットワーク通信部302と、動作モード制御部303と、アプリ／表示データ取得部304aと、レジデントプレーヤアプリケーションプログラム（なお、アプリケーションプログラムを以下「アプリ」とも記す。）実行部305aと、レジデントプレーヤアプリ格納部306aと、レジデント表示データ格納部307と、会員用プレーヤアプリ実行部308aと、会員用プレーヤアプリ格納部309aと、会員用表示データ格納部310aと、コンテンツ再生／情報提示部311とを備える。

【0025】

通信部301は、ICカードスロット31に挿入されたカード20aと通信する。

ネットワーク通信部302は、ネットワーク60を介してサーバ10と通信し、サーバ10が保持する会員用アプリケーションプログラムや、この会員用アプリケーションプログラムが使用する会員用表示データ等をダウンロードしたりする。

【0026】

動作モード制御部303は、ICカードスロット31にカード20aが挿入されているか否かを検出したり、カード20aに対して動作モードの問い合わせ（動作モード指示要求）を送信したり、カード20aからの動作モード指示に基づいて、動作モードを設定したりする。

【0027】

レジデントプレーヤアプリ格納部306aは、端末出荷時に格納されるレジデントプレーヤアプリ3060aを保持する。

レジデント表示データ格納部307は、レジデントプレーヤアプリ3060aにより使用され、端末出荷時に格納されるレジデント表示データ3070を保持する。なお、レジデント表示データ3070は、ディスク挿入を促すメッセージ等である。

【0028】

レジデントプレーヤアプリ実行部305aは、アプリ／表示データ取得部304aにより取得されたレジデントプレーヤアプリ3060aを実行するCPUにより実現される。

会員用プレーヤアプリ格納部309aは、端末出荷後に取得される会員用プレーヤアプリ3090aを保持する。取得方法は、サーバ10からダウンロードしたり、カード20aから転送したりする等の方法が用いられる。

【0029】

会員用表示データ格納部310aは、会員用プレーヤアプリ3090aに使用され、端末出荷後に取得される会員用表示データ3100aを保持する。なお、会員用表示データ3100aは、ディスク挿入を促すメッセージや、キャラクタを用いた装飾表示や、コンテ

ンツ再生の際の装飾表示や、プレーヤの操作を容易にするGUI等である。

【0030】

会員用プレーヤアプリ実行部308aは、アプリ／表示データ取得部304aにより取得された会員用プレーヤアプリ3090aを実行するCPUにより実現される。

アプリ／表示データ取得部304aは、動作モード指示に基づいて各格納部から必要なアプリケーションプログラムや表示用データを取得する。すなわち、動作モード指示が一般用である場合、アプリ／表示データ取得部304aは、レジデントプレーヤアプリ格納部306aからレジデントプレーヤアプリ3060aを取得し、レジデント表示データ格納部307からレジデントプレーヤアプリ3060aが使用するレジデント表示データ3070を取得する。また、動作モード指示が会員用である場合、アプリ／表示データ取得部304aは、会員用プレーヤアプリ格納部309aから会員用プレーヤアプリ3090aを取得し、会員用表示データ格納部310aから会員用プレーヤアプリ3090aが使用する会員用表示データ3100aを取得する。

【0031】

コンテンツ再生／情報提示部311は、レジデント／会員用に共通に用いられ、コンテンツを実際に再生したり、コンテンツの曲名や題名等の情報を提示したりする。

一方、カード20aは、通信部201と、会員証データ保持部202と、動作モード決定部203aとを備える。

【0032】

通信部201は、コンテンツ再生端末30aと通信する。

会員証データ保持部202は、会員証2020を保持する。

図3は、上記会員証2020のデータ構成を示す図である。

【0033】

図3に示されるように、会員証2020は、会員種別2021と、有効期限2022と、署名2023とから構成される。

会員種別2021は、ユーザが属するグループ（例えば、A社会員、B社会員等）を示す。有効期限2022は、この会員証の有効期限を示す。署名2023は、会員種別2021や、有効期限2022の改竄を防止するため、正当性（有効性）を確認するためのデータである。

【0034】

動作モード決定部203aは、通信部201を介してコンテンツ再生端末30aから動作モード指示要求を受信した場合に、一般用端末として動作するか会員用端末として動作するかを決定し、決定結果を示す動作モード指示を通信部201を介してコンテンツ再生端末30aに送信する。

【0035】

次いで、コンテンツ再生端末30aおよびカード20a間で行われる動作モード変更処理を説明する。

図4は、コンテンツ再生端末30aおよびカード20a間で行われる動作モード変更処理の動作を示すフローチャートである。

【0036】

コンテンツ再生端末30aの動作モード制御部303は、端末起動、カード挿抜、カード格納データの更新等の動作モード変更イベントが発生するとこの動作モード変更処理を開始し、まず、ICカードスロット31にカードが挿入されているか否か判断する（S11）。カードが挿入されている場合（S11でYes）、動作モード制御部303は、動作モード指示要求を通信部301を介してカード20aに送信する（S12）。この動作モード指示要求は、カード20aから動作モード指示を受けるための要求であり、例えば動作モード指示要求であることを示すメッセージ識別子で構成される。

【0037】

カード20aの動作モード決定部203aは、通信部201を介して動作モード指示要求を受信する（S13）と、動作モード指示を生成するための動作モード決定プロセスを

実行する（S 1 4）。

【0 0 3 8】

図5は、図4に示される動作モード決定プロセス（S 1 4）のサブルーチンを示すフローチャートである。

動作モード決定部2 0 3 aは、まず会員証データ保持部2 0 2を検索し、会員証2 0 2 0があるか否か判断する（S 1 4 1）。会員証2 0 2 0がある場合（S 1 4 1でY e s）、動作モード決定部2 0 3 aは、署名のチェック、有効期限のチェック等による会員証2 0 2 0の有効性を確認し（S 1 4 2）、会員証2 0 2 0が有効か否か判断する（S 1 4 3）。

【0 0 3 9】

会員証2 0 2 0が有効である場合（S 1 4 3でY e s）、動作モード決定部2 0 3 aは、会員証の種別を確認し、動作モードを決定する（S 1 4 4）。そして、動作モード決定部2 0 3 aは、動作モード＝決定した動作モードに設定した指示を示す動作モード指示を生成し（S 1 4 5）、図4に示されるメインルーチンにリターンする。

【0 0 4 0】

一方、会員証データ保持部2 0 2に会員証がない場合（S 1 4 1でN o）、あるいは会員証が有効でない場合（S 1 4 3でN o）、動作モード決定部2 0 3 aは、動作モード＝一般プレーヤに設定した指示を示す動作モード指示を生成し（S 1 4 6）、図4に示されるメインルーチンにリターンする。

【0 0 4 1】

図6は、上記した動作モード指示7 0 aのデータ構成例を示す図である。

図6に示されるように、動作モード指示7 0 aは、このデータが動作モード指示であることを示す動作モード指示識別子7 1と、この指示の内容を示す動作モード7 2とから構成される。動作モード7 2としては、0：一般プレーヤ、1：A社会員プレーヤ、2：B社会員プレーヤ、…の何れかが格納される。

【0 0 4 2】

動作モード指示7 0 aの生成が終わると、動作モード決定部2 0 3 aは、生成した動作モード指示7 0 aを通信部2 0 1を介してコンテンツ再生端末3 0 aに送信する（S 1 5）。

【0 0 4 3】

コンテンツ再生端末3 0 aの動作モード制御部3 0 3は、動作モード指示7 0 aを通信部3 0 1を介して受信すると（S 1 6）、動作モードを指示された動作モードに設定する（S 1 7）。これにより、コンテンツ再生端末3 0 aの動作モードを変更するための動作モード変更処理プロセスが実行される（S 1 9）。

【0 0 4 4】

一方、カードが挿入されていない場合（S 1 1でN o）、動作モード制御部3 0 3は、動作モードを一般プレーヤに設定する（S 1 8）。これにより、コンテンツ再生端末3 0 aの動作モードを変更するための動作モード変更処理プロセスが実行される（S 1 9）。

【0 0 4 5】

図7は、図4に示される動作モード変更処理プロセス（S 1 9）のサブルーチンを示すフローチャートである。

まず、動作モード制御部3 0 3は、現在の動作モード＝指定されたモードであるか否か判定する（S 1 9 1）。

【0 0 4 6】

現在の動作モード＝指定されたモードである場合（S 1 9 1でY e s）、動作モードの変更が不要であるので、そのまま図4に示されるメインルーチンにリターンする。

現在の動作モード＝指定されたモードでない場合（S 1 9 1でN o）、アプリ／表示データ取得部3 0 4は、指定されたモードに合致するプレーヤアプリおよび表示用データを格納部から読み出し（S 1 9 2）、指定されたモードに合致するアプリ実行部は読み出したプレーヤアプリを実行する（S 1 9 3）。

【0047】

つまり、例えば現在の動作モードが一般プレーヤで、指定されたモードが会員プレーヤ（A社）である場合、アプリ／表示データ取得部304は、会員用プレーヤアプリ格納部309からA社会員用プレーヤアプリを読み出し、会員用表示データ格納部310からA社会員用表示データを読み出し、会員用プレーヤアプリ実行部308はA社会員用プレーヤアプリを実行する。この逆に現在の動作モードが会員プレーヤで、指定されたモードが一般プレーヤである場合、アプリ／表示データ取得部304は、レジデントプレーヤアプリ格納部306からレジデントプレーヤアプリを読み出し、レジデント表示データ格納部307からレジデントデータを読み出し、レジデントプレーヤアプリ実行部305aはレジデントプレーヤアプリ3060aを実行する。

【0048】

このような処理により、カード20aの挿抜等でコンテンツ再生端末30aを一般用の端末と動作させたり、会員用の専用端末として動作させたりすることができる。

【0049】

（実施の形態2）

次いで、本発明の実施の形態2に係るコンテンツ再生端末について説明する。

【0050】

図8は、本発明の実施の形態2に係るコンテンツ再生端末およびカードの機能構成を示すブロック図である。なお、実施の形態1のコンテンツ再生端末30aおよびカード20aの構成要素と対応する部分に同じ番号を付し、その説明を省略する。

【0051】

ところで、実施の形態1のコンテンツ再生端末30aでは、会員用プレーヤアプリ実行部308aおよび会員用プレーヤアプリ格納部309aを備え、本格的な会員用専用端末として動作するように構成されている。しかしながら、場合によっては表示やGUIを変えるだけで簡便な会員用専用端末として動作すれば差別化として十分であるといった場合も考えられる。

【0052】

そこで、この実施の形態2に係るコンテンツ再生端末30bにおいては、会員用プレーヤアプリ実行部308aおよび会員用プレーヤアプリ格納部309aを省略し、レジデントプレーヤアプリ3060bが、動作モードに応じてレジデント表示データ3070と会員用表示データ3100aとを切り替えるように構成されている。

【0053】

つまり、コンテンツ再生端末30bは、通信部301と、ネットワーク通信部302と、動作モード制御部303と、アプリ／表示データ取得部304bと、レジデントプレーヤアプリ実行部305bと、レジデントプレーヤアプリ3060bを格納するレジデントプレーヤアプリ格納部306bと、レジデント表示データ格納部307と、コンテンツ再生／情報提示部311とから構成される。

【0054】

このコンテンツ再生端末30bは、動作モード変更プロセスにおいて、現在の動作モード＝指定されたモードでない場合、アプリ／表示データ取得部304aは、指定されたモードに合致する表示用データを格納部から読み出し、レジデントプレーヤアプリ実行部305bは、指定されたモードに合致する表示データを用いてレジデントプレーヤアプリ3060bを実行する。

【0055】

つまり、例えば現在の動作モードが一般プレーヤで、指定されたモードが会員プレーヤ（A社）である場合、アプリ／表示データ取得部304bは、会員用表示データ格納部310からA社会員用表示データを読み出し、レジデントプレーヤアプリ実行部305bはレジデントプレーヤアプリ3060bを実行する。すなわち、レジデントプレーヤアプリ3060bはレジデント表示データ3070に代えて会員用表示データ3100aを用いる。この逆に現在の動作モードが会員プレーヤで、指定されたモードが一般プレーヤであ

る場合、アプリ／表示データ取得部304bは、レジデント表示データ格納部307からレジデント表示データ3070を読み出し、レジデントプレーヤアプリ実行部305bはレジデントプレーヤアプリ3060bを実行する。すなわち、レジデントプレーヤアプリ3060bは会員用表示データ3100aに代えてレジデント表示データ3070を使用する。

【0056】

このような処理によっても、カード20aの挿抜等でコンテンツ再生端末30bを一般用の端末と動作させたり、会員用の専用端末として動作させたりすることができる。

【0057】

(実施の形態3)

次いで、本発明の実施の形態3に係るコンテンツ再生端末について説明する。

【0058】

図9は、本発明の実施の形態3に係るコンテンツ再生端末およびカードの機能構成を示すブロック図である。なお、実施の形態1のコンテンツ再生端末30aおよびカード20aの構成要素と対応する部分に同じ番号を付し、その説明を省略する。

【0059】

ところで、実施の形態1では、コンテンツ再生端末30aに会員用プレーヤアプリ格納部309aおよび会員用表示データ格納部310aを備え、ネットワーク60経由で会員用プレーヤアプリ3090aおよび会員用表示データ3100aを取得するように構成されている。しかしながら、場合によってはカードに会員用プレーヤアプリ格納部309aおよび会員用表示データ格納部310aを備え、予め会員用プレーヤアプリ3090aおよび会員用表示データ3100aを格納するように構成される場合も考えられる。

【0060】

そこで、この実施の形態3に係るコンテンツ再生端末30cにおいては、会員用プレーヤアプリ格納部309aおよび会員用表示データ格納部310aを省略し、会員専用の動作モードの場合、アプリ／表示データ取得部304cがカード20bに設けられた会員用プレーヤアプリ格納部309aおよび会員用表示データ格納部310aから会員用プレーヤアプリ3090aおよび会員用表示データ3100aを取得し、会員用プレーヤアプリ実行部308aが会員用プレーヤアプリ3090aを実行するように構成されている。

【0061】

つまり、カード20bは、通信部201、会員証データ保持部202および動作モード決定部203aの他、さらに会員用プレーヤアプリ格納部309aと、会員用表示データ格納部310aとを備えて構成される。すなわち、カード20bの発行の際に、カード20bに会員用プレーヤアプリ格納部309aおよび会員用表示データ格納部310aを設け、会員用プレーヤアプリ格納部309aに会員用プレーヤアプリ3090aを格納し、会員用表示データ格納部310aに会員用表示データ3100aを格納するように構成されている。

【0062】

また、コンテンツ再生端末30cは、通信部301、ネットワーク通信部302、動作モード制御部303、アプリ／表示データ取得部304c、レジデントプレーヤアプリ実行部305a、レジデントプレーヤアプリ格納部306a、レジデント表示データ格納部307、会員用プレーヤアプリ実行部308aおよびコンテンツ再生／情報提示部311で構成される。

【0063】

このコンテンツ再生端末30cは、動作モード変更プロセスにおいて、現在の動作モード＝指定されたモードでない場合、例えば現在の動作モードが一般プレーヤで、指定されたモードが会員プレーヤ（A社）である場合、アプリ／表示データ取得部304aは、カード20bの会員用プレーヤアプリ格納部309aから通信部201，301を介して会員用プレーヤアプリ3090aを読み出し、カード20bの会員用表示データ格納部310から通信部201，301を介してA社会員用表示データを読み出し、会員用プレーヤ

アプリ実行部308aが会員用プレーヤアプリ3090aを実行するようにすればよい。

【0064】

このような処理によっても、カード20bの挿抜等でコンテンツ再生端末30cを一般用の端末と動作させたり、会員用の専用端末として動作させたりすることができる。

(実施の形態4)

次いで、本発明の実施の形態4に係るコンテンツ再生端末について説明する。

【0065】

図10は、本発明の実施の形態4に係るコンテンツ再生端末およびカードの機能構成を示すブロック図である。なお、実施の形態1のコンテンツ再生端末30aおよびカード20aの構成要素と対応する部分に同じ番号を付し、その説明を省略する。

【0066】

ところで、実施の形態1では、ユーザがある会員である場合、会員を同じステータスとして取り扱い、会員用表示データや会員用プレーヤアプリを変えて実行していない。しかしながら、コンテンツの購入額や、レンタル額に応じてユーザにポイントを付与し、付与したポイントをカードに記録し、ポイントの値に応じてシルバー会員や、ゴールド会員といったステータスを与え、割引率を変えるとといった取り扱いが行われているので、このステータスに応じて会員用表示データや会員用プレーヤアプリを変えて実行する場合が考えられる。

【0067】

そこで、この実施の形態4に係るコンテンツ再生端末30dにおいては、会員専用の動作モードの場合、会員のポイントの値に応じたステータスに基づいて、会員用プレーヤアプリ実行部308b、会員用プレーヤアプリ格納部309bおよび会員用表示データ格納部310bにおける動作を変えるように構成されている。

【0068】

つまり、カード20cは、通信部201、会員証データ保持部202および動作モード決定部203bの他、さらに会員ポイント2040を管理する会員ポイント管理部204と、会員のステータスを決定するためのルール2050を格納するステータス決定／ルール格納部205とを備えて構成される。

【0069】

動作モード決定部203bは、動作モード決定プロセスにおいて、動作モードを決定するほか、会員ポイント管理部204が管理する会員ポイント2040およびステータス決定／ルール格納部205が格納するルール2050に基づいてステータスを決定し、動作モード指示を生成する。

【0070】

また、コンテンツ再生端末30dは、通信部301と、ネットワーク通信部302と、動作モード制御部303と、アプリ／表示データ取得部304cと、レジデントプレーヤアプリ実行部305aと、レジデントプレーヤアプリ格納部306aと、レジデント表示データ格納部307と、会員用プレーヤアプリ実行部308bと、会員用プレーヤアプリ格納部309bと、会員用表示データ格納部310bと、コンテンツ再生／情報提示部311とを備えて構成される。

【0071】

会員用表示データ格納部310bは、ステータスに応じた会員用表示データ3100bを格納する。

会員用プレーヤアプリ格納部309bは、ステータスに応じた会員用プレーヤアプリ3090bを格納する。

【0072】

アプリ／表示データ取得部304cは、動作モード変更処理プロセスにおいて、動作モード指示に基づいてステータスに応じた会員用表示データ3100bおよび会員用プレーヤアプリ格納部309bを取得する。

【0073】

会員用プレイヤーアプリ実行部308bは、アプリ／表示データ取得部304cによって取得された会員用プレイヤーアプリ3090bを実行する。

次いで、カード20cにおいて行われる動作モード決定プロセスの動作を説明する。

【0074】

図11は、図4に示される動作モード決定プロセス(S14)のサブルーチンを示すフローチャートである。なお、図5のフローチャートと対応する部分に同じステップ番号を付す。

【0075】

動作モード決定部203bは、まず会員証データ保持部202を検索し、会員証2020があるか否か判断する(S141)。会員証2020がある場合(S141でYes)、動作モード決定部203bは、署名のチェック、有効期限のチェック等による会員証2020の有効性を確認し(S142)、会員証2020が有効か否か判断する(S143)。

【0076】

会員証2020が有効である場合(S143でYes)、動作モード決定部203bは、会員証の種別を確認し、動作モードを決定する(S144)。次いで、動作モード決定部203bは、会員ポイント管理部204に格納されている会員ポイント2040を参照し、ステータス決定／ルール格納部205に格納されているルール2050に基づいて会員ステータスを決定する(S147)。動作モードおよび会員ステータスを決定すると、動作モード決定部203bは、動作モード＝決定した動作モードに、会員ステータス＝決定した会員ステータスに設定した指示を示す動作モード指示を生成し(S148)、図4に示されるメインルーチンにリターンする。

【0077】

一方、会員証データ保持部202に会員証がない場合(S141でNo)、あるいは会員証が有効でない場合(S143でNo)、動作モード決定部203bは、動作モード＝一般プレイヤーに設定した指示を示す動作モード指示を生成し(S146)、図4に示されるメインルーチンにリターンする。

【0078】

図12は、上記した動作モード指示70bのデータ構成例を示す図である。

図12に示されるように、動作モード指示70bは、このデータが動作モード指示であることを示す動作モード指示識別子71と、この指示の内容を示す動作モード72と、会員のステータスを示す会員ステータス73とから構成される。会員ステータス73としては、0：通常会員、1：シルバー会員、2：ゴールド会員、…の何れかが格納される。

【0079】

このような動作モード指示70bの生成が終わると、動作モード決定部203bは、生成した動作モード指示70bを通信部201を介してコンテンツ再生端末30dに送信する。

【0080】

そして、コンテンツ再生端末30dのアプリ／表示データ取得部304cは、動作モード変更処理プロセスにおいて、動作モード指示に基づいてステータスに応じた会員用表示データ3100bおよび会員用プレイヤーアプリ格納部309bを取得し、会員用プレイヤーアプリ実行部308bは、アプリ／表示データ取得部304cによって取得された会員用プレイヤーアプリ3090bを実行する。

【0081】

これにより、会員のステータスにより装飾を変えたり、GUIを変えたりすることもできる。

このような処理によっても、カード20cの挿抜等でコンテンツ再生端末30dを一般用の端末と動作させたり、会員用の専用端末として動作させたりすることができるだけでなく、会員のステータスにより装飾を変えたり、GUIを変えたりすることもできる。

【0082】

なお、上記実施の形態１～４においては、動作モード決定部２０３ａ，２０３ｂをカード２０ａ～２０ｃに設けたが、コンテンツ再生端末３０ａ～３０ｄに設けるようにしてもよい。

【００８３】

また、上記実施の形態１～４においては、会員専用モードにおいて装飾表示やＧＵＩの表示を変えるようにしたが、会員専用モードにおいてサーバ１０にアクセスするためのボタンを表示し、このボタンを押すところのサーバ１０で提供するサイト、例えば「ニギニギおじさんのコンテンツ解説」にアクセスし、「Ｆｉｓｈｉｎｇ △□×○の制作秘話」といったコンテンツをダウンロードできるようにしてもよい。また、ボタンを押すところのサーバ１０で提供するサイト、例えば「コンテンツのアップグレード」にアクセスし、コンテンツの音声を５．１ｃｈ化するデータや、コンテンツの画質を劇場版と同等にハイデンシティ化するデータをダウンロードできるようにしてもよい。

【産業上の利用可能性】

【００８４】

本発明に係るコンテンツ再生端末は、ユーザが会員カードをコンテンツ再生端末のＩＣカードスロットに差し込むことによって、その端末を、会員専用機に変身させて利用することが可能となる。よって、本発明により、カードの挿抜等により１つの端末が一般用の端末に変身したり、会員用の専用端末に変身し、コンテンツの販売や、レンタルが普及し、専用端末として差別化を図ろうとする動きがある今日における本願発明の実用的価値は極めて高い。

【図面の簡単な説明】

【００８５】

【図１】本実施の形態１に係るコンテンツ再生端末に適用されるある会員システムの全体構成を示す図である。

【図２】図１に示されるカード２０ａおよびコンテンツ再生端末３０ａの機能構成を示すブロック図である。

【図３】会員証２０２０のデータ構成を示す図である。

【図４】コンテンツ再生端末３０ａおよびカード２０ａ間で行われる動作モード変更処理の動作を示すフローチャートである。

【図５】図４に示される動作モード決定プロセス（Ｓ１４）のサブルーチンを示すフローチャートである。

【図６】動作モード指示７０ａのデータ構成例を示す図である。

【図７】図４に示される動作モード変更処理プロセス（Ｓ１９）のサブルーチンを示すフローチャートである。

【図８】本発明の実施の形態２に係るコンテンツ再生端末およびカードの機能構成を示すブロック図である。

【図９】本発明の実施の形態３に係るコンテンツ再生端末およびカードの機能構成を示すブロック図である。

【図１０】本発明の実施の形態４に係るコンテンツ再生端末およびカードの機能構成を示すブロック図である。

【図１１】図４に示される動作モード決定プロセス（Ｓ１４）のサブルーチンを示すフローチャートである。

【図１２】動作モード指示７０ｂのデータ構成例を示す図である。

【符号の説明】

【００８６】

２０ａ，２０ｂ，２０ｃ カード

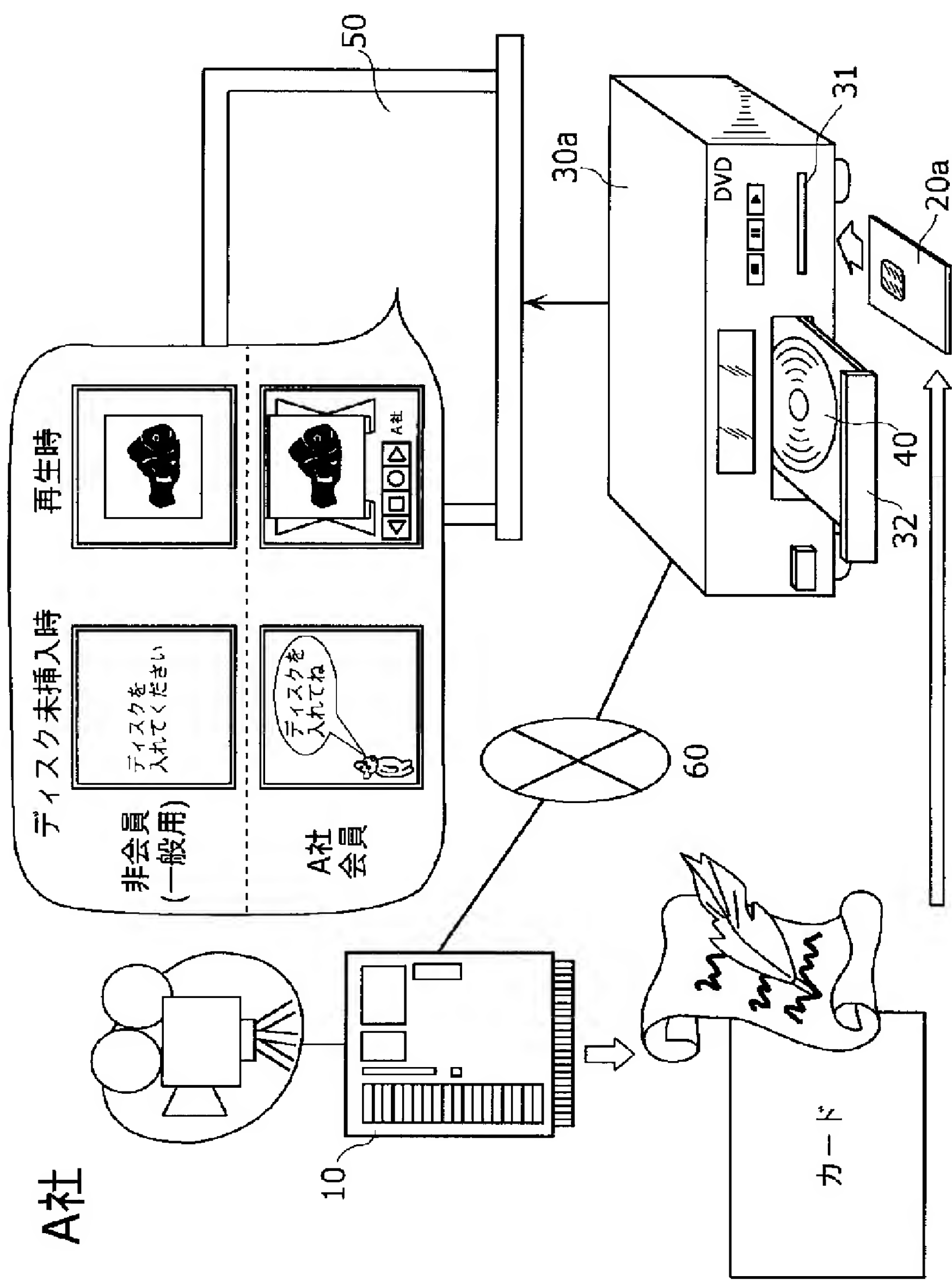
３０ａ，３０ｂ，３０ｃ，３０ｄ コンテンツ再生端末

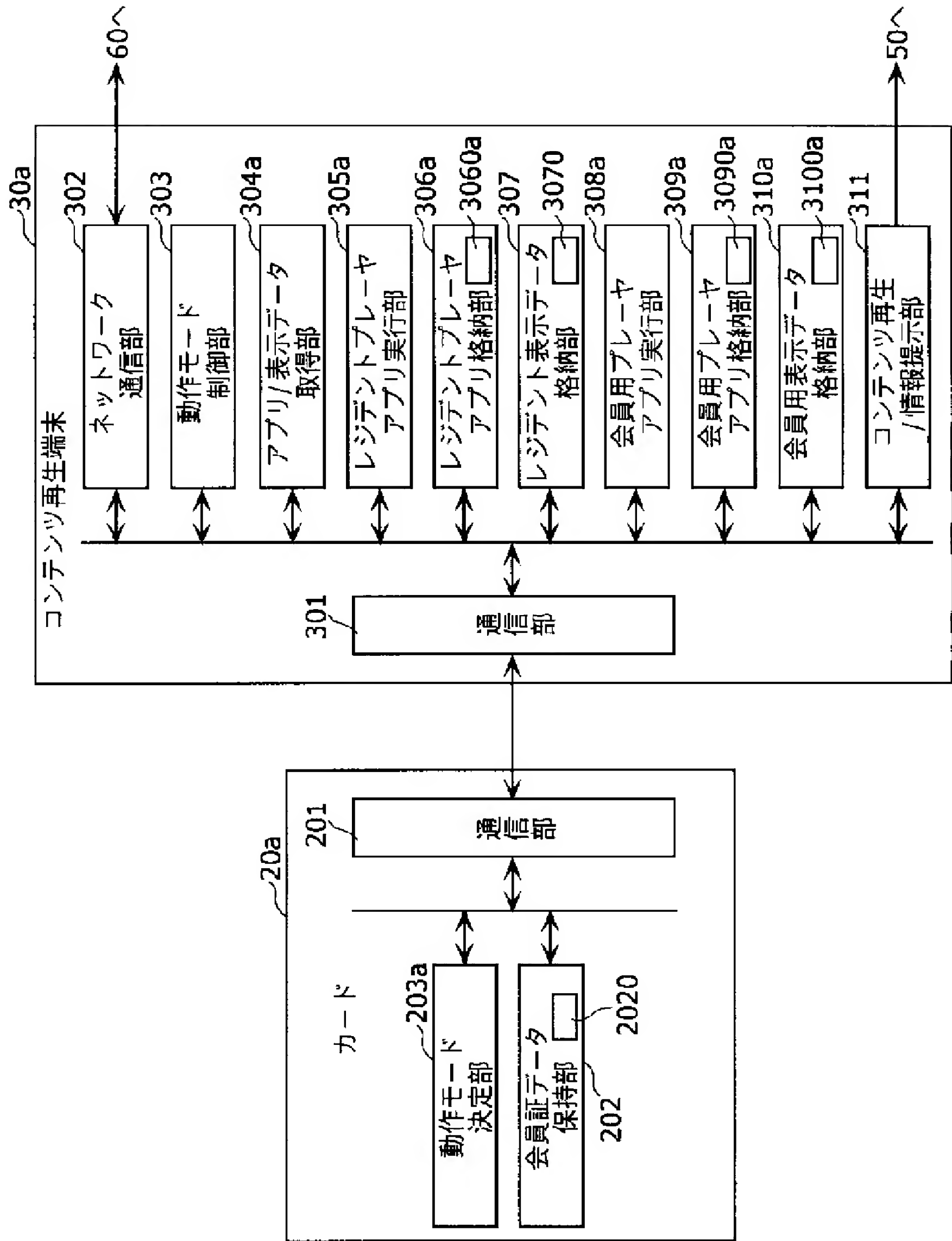
３１ ＩＣカードスロット

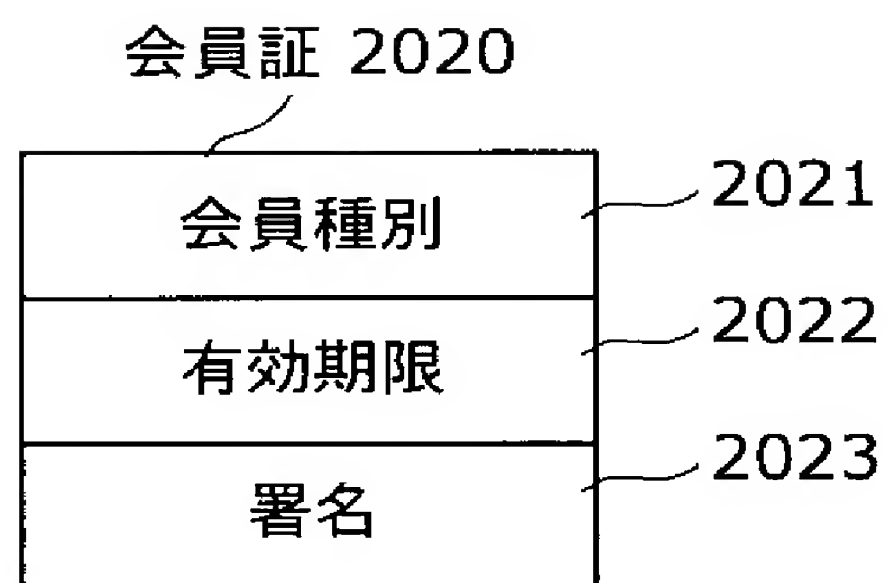
７０ａ，７０ｂ 動作モード指示

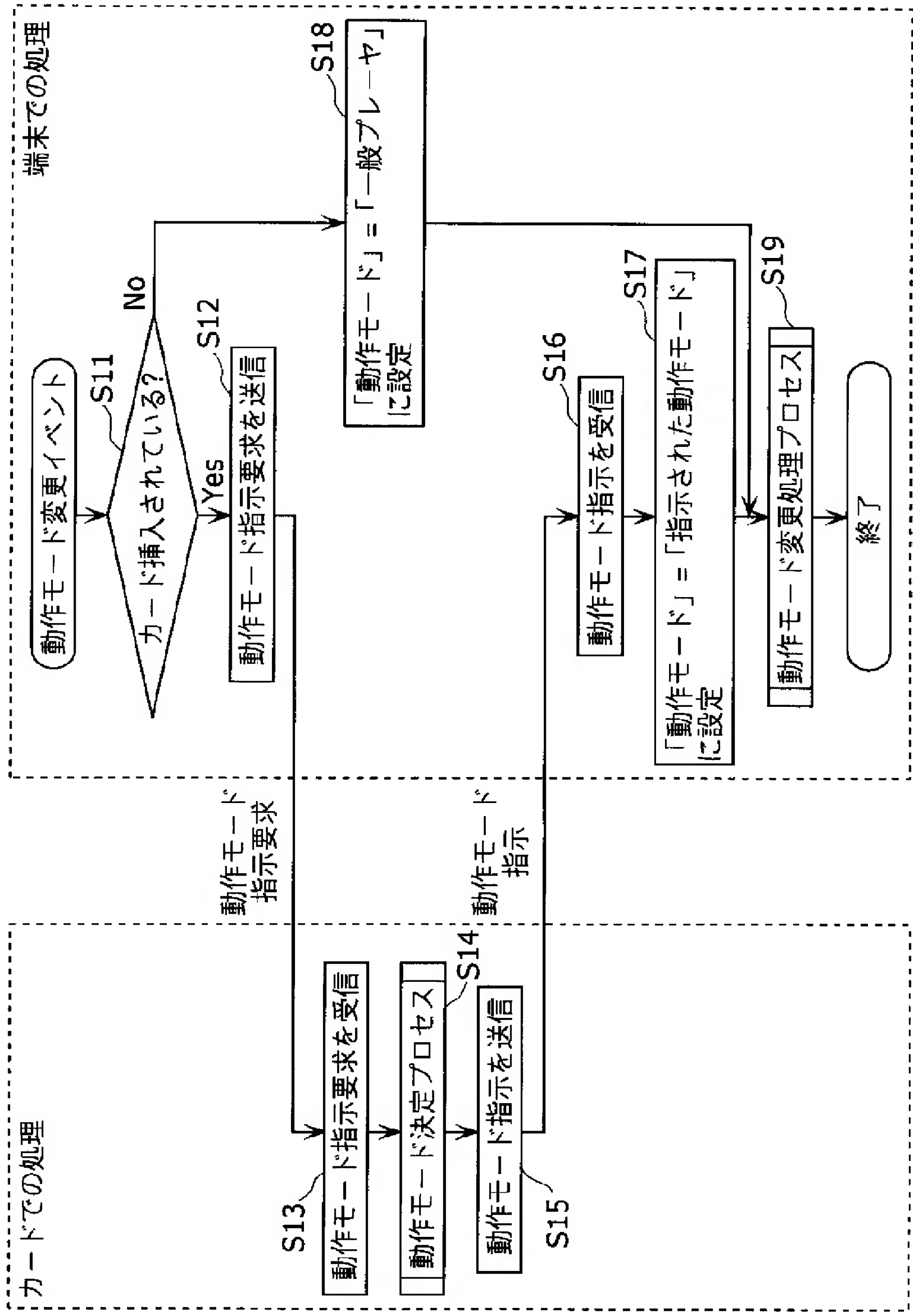
７１ 動作モード指示識別子

- 7 2 動作モード
- 7 3 会員ステータス
- 2 0 1 , 3 0 1 通信部
- 2 0 2 会員証データ保持部
- 2 0 3 a , 2 0 3 b 動作モード決定部
- 2 0 4 会員ポイント管理部
- 2 0 5 ステータス決定／ルール格納部
- 3 0 2 ネットワーク通信部
- 3 0 3 動作モード制御部
- 3 0 4 a , 3 0 4 b , 3 0 4 c アプリ／表示データ取得部
- 3 0 5 a , 3 0 5 b レジデントプレーヤアプリ実行部
- 3 0 6 a , 3 0 6 b , レジデントプレーヤアプリ格納部
- 3 0 7 レジデント表示データ格納部
- 3 0 8 a , 3 0 8 b , 会員用プレーヤアプリ実行部
- 3 0 9 a , 3 0 9 b 会員用プレーヤアプリ格納部
- 3 1 0 a , 3 1 0 b 会員用表示データ格納部
- 3 1 1 コンテンツ再生／情報提示部
- 2 0 2 0 会員証
- 2 0 4 0 会員ポイント
- 2 0 5 0 ルール
- 3 0 6 0 a , 3 0 6 0 b レジデントプレーヤアプリ
- 3 0 7 0 レジデント表示データ
- 3 0 9 0 a , 3 0 9 0 b 会員用プレーヤアプリ
- 3 1 0 0 a , 3 1 0 0 b 会員用表示データ

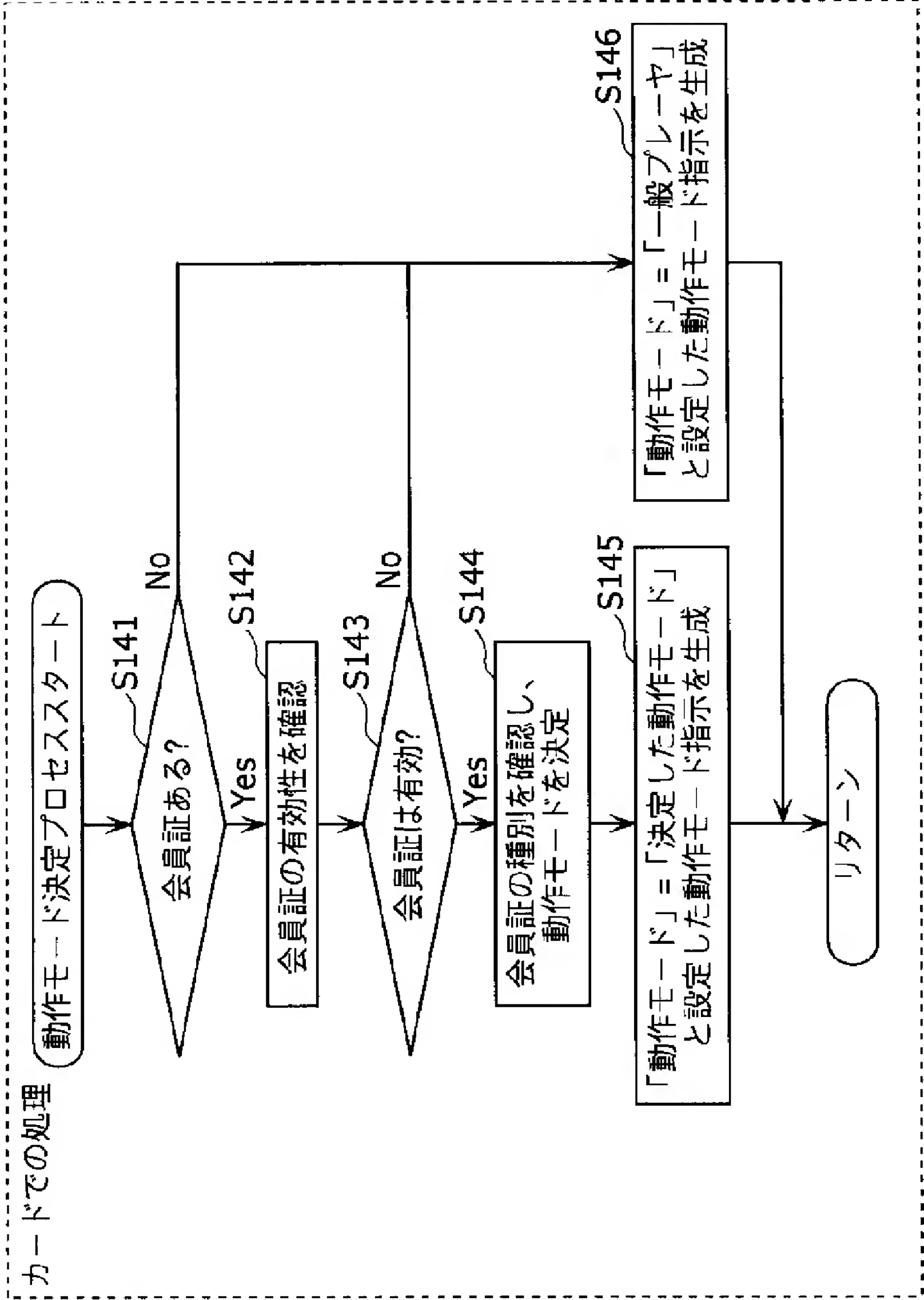




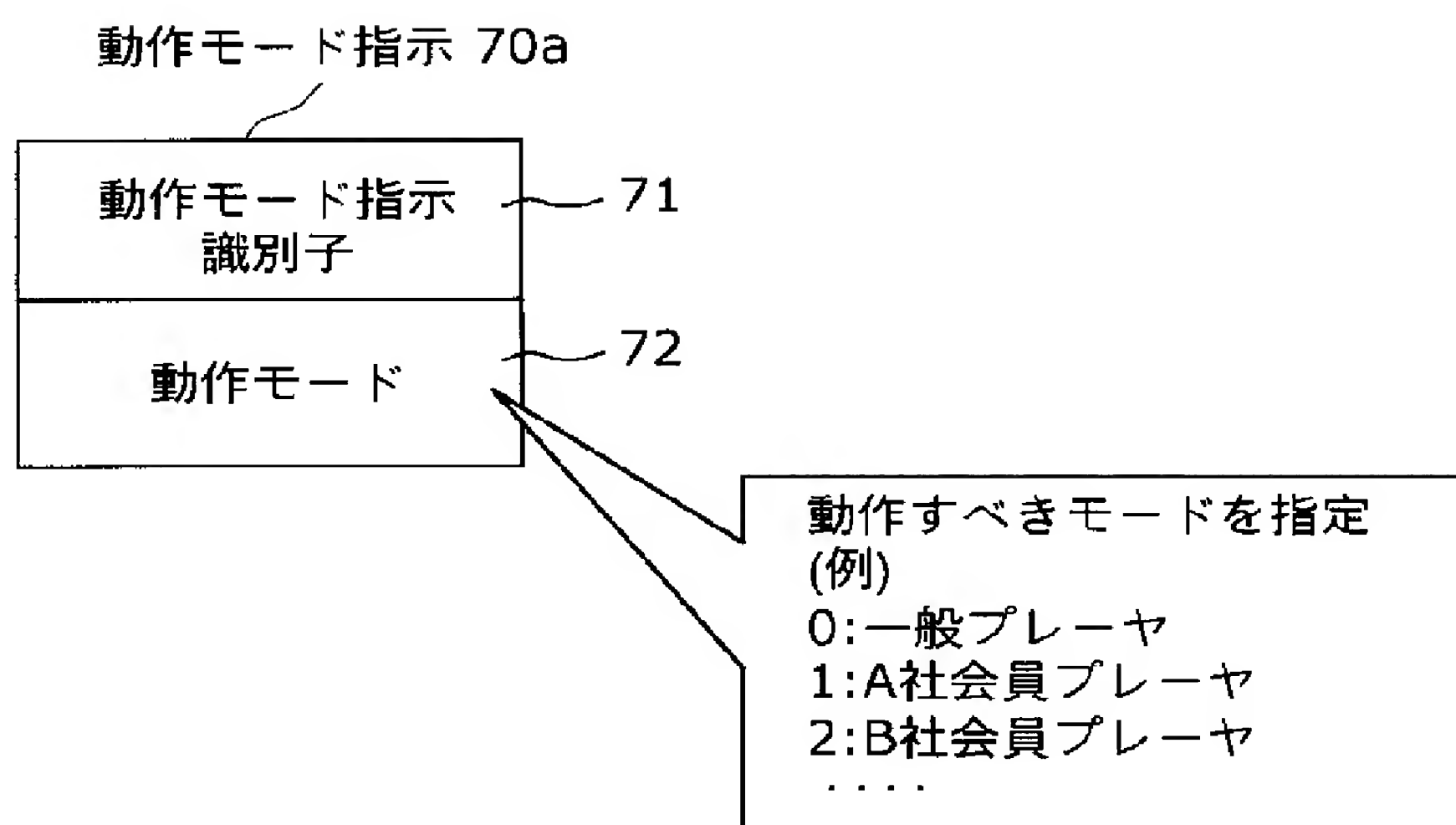




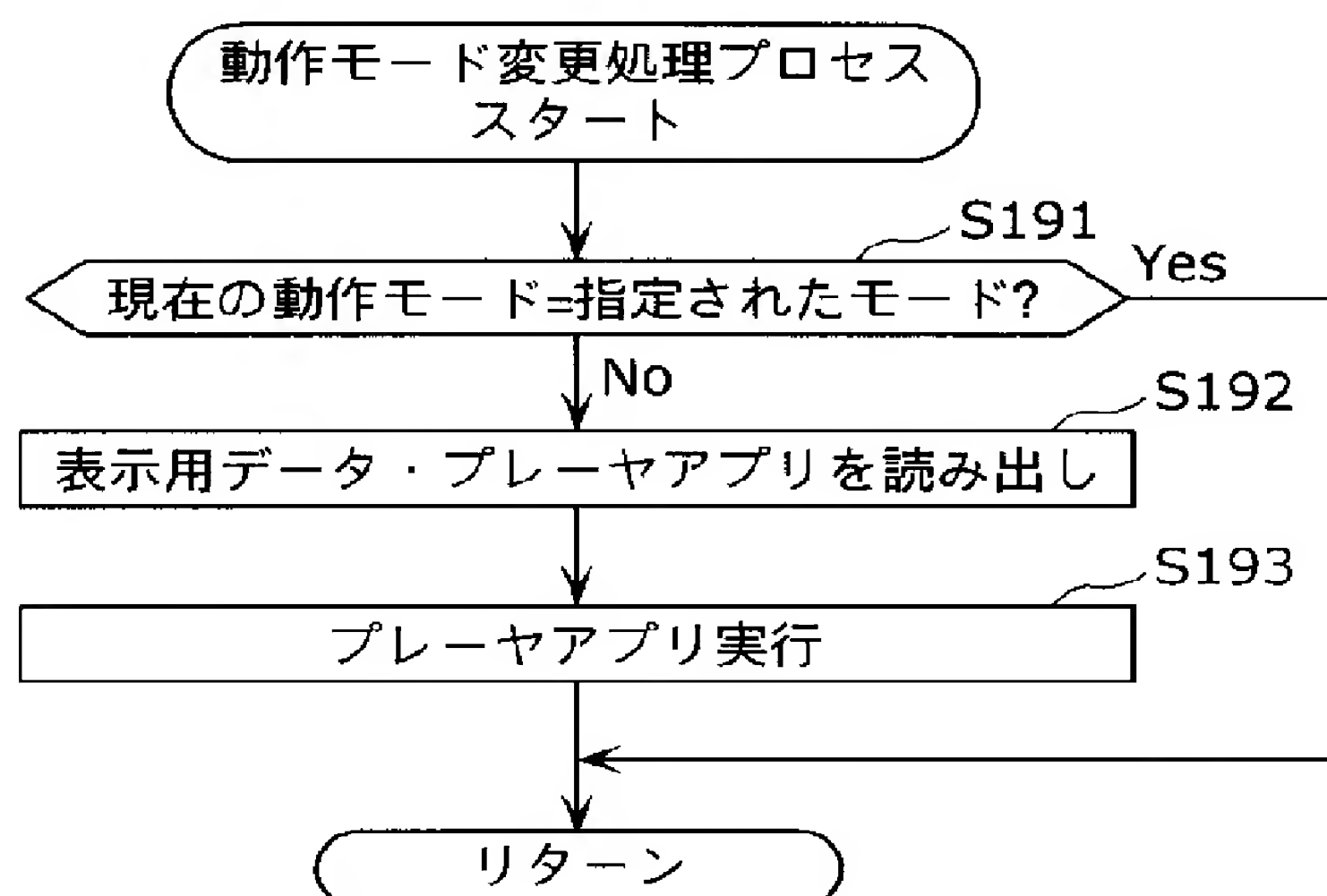
カードでの処理

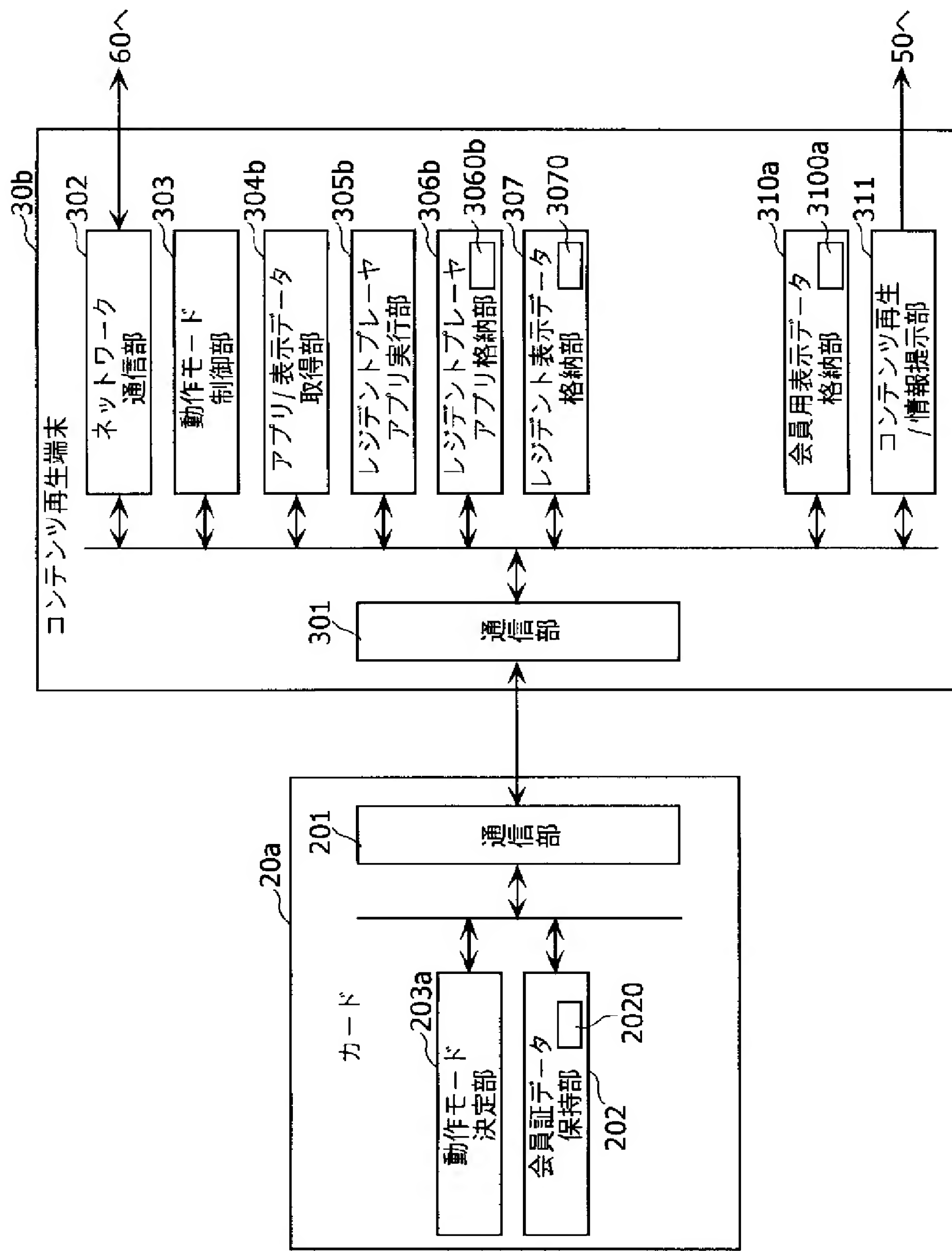


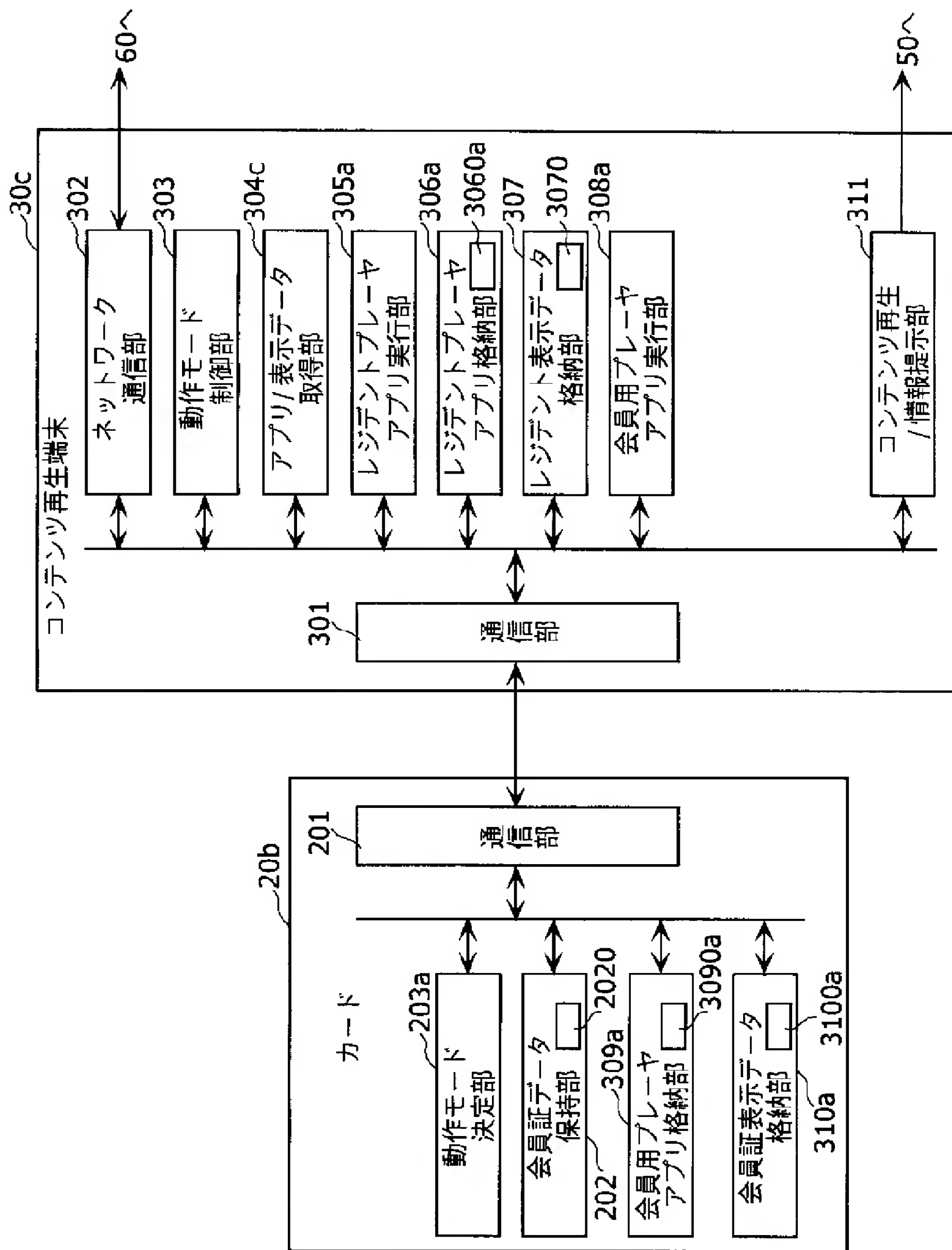
【図 6】

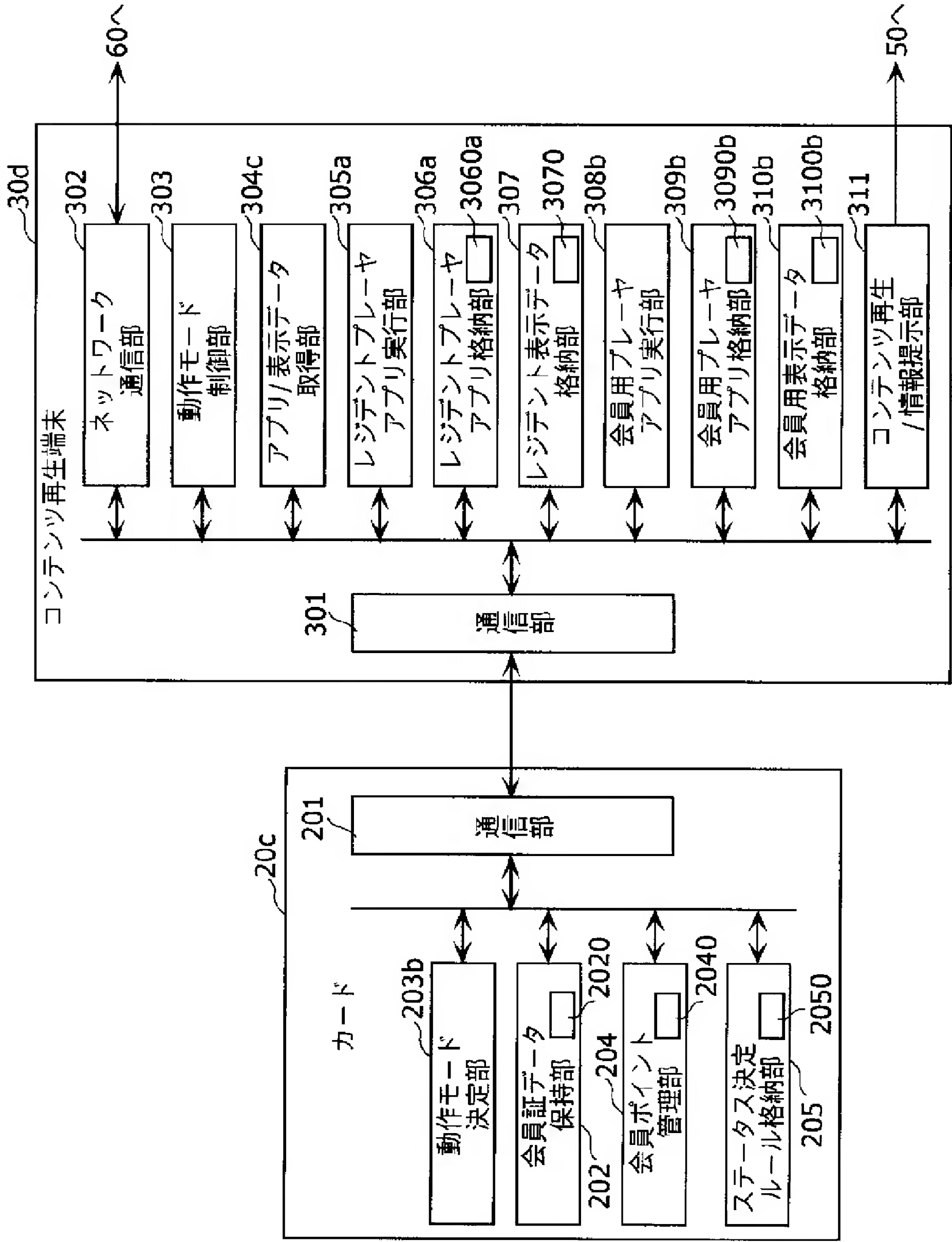


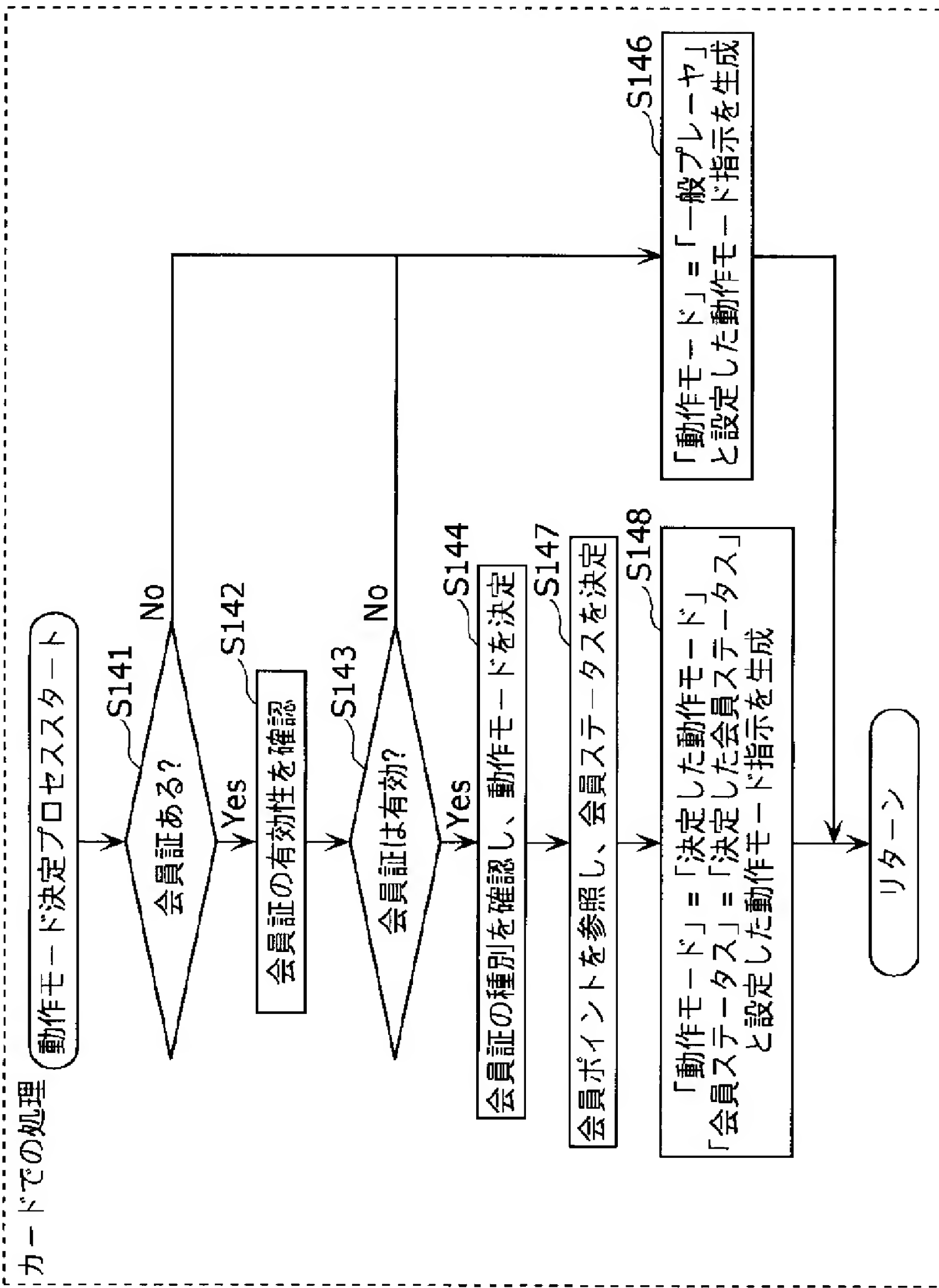
【図 7】

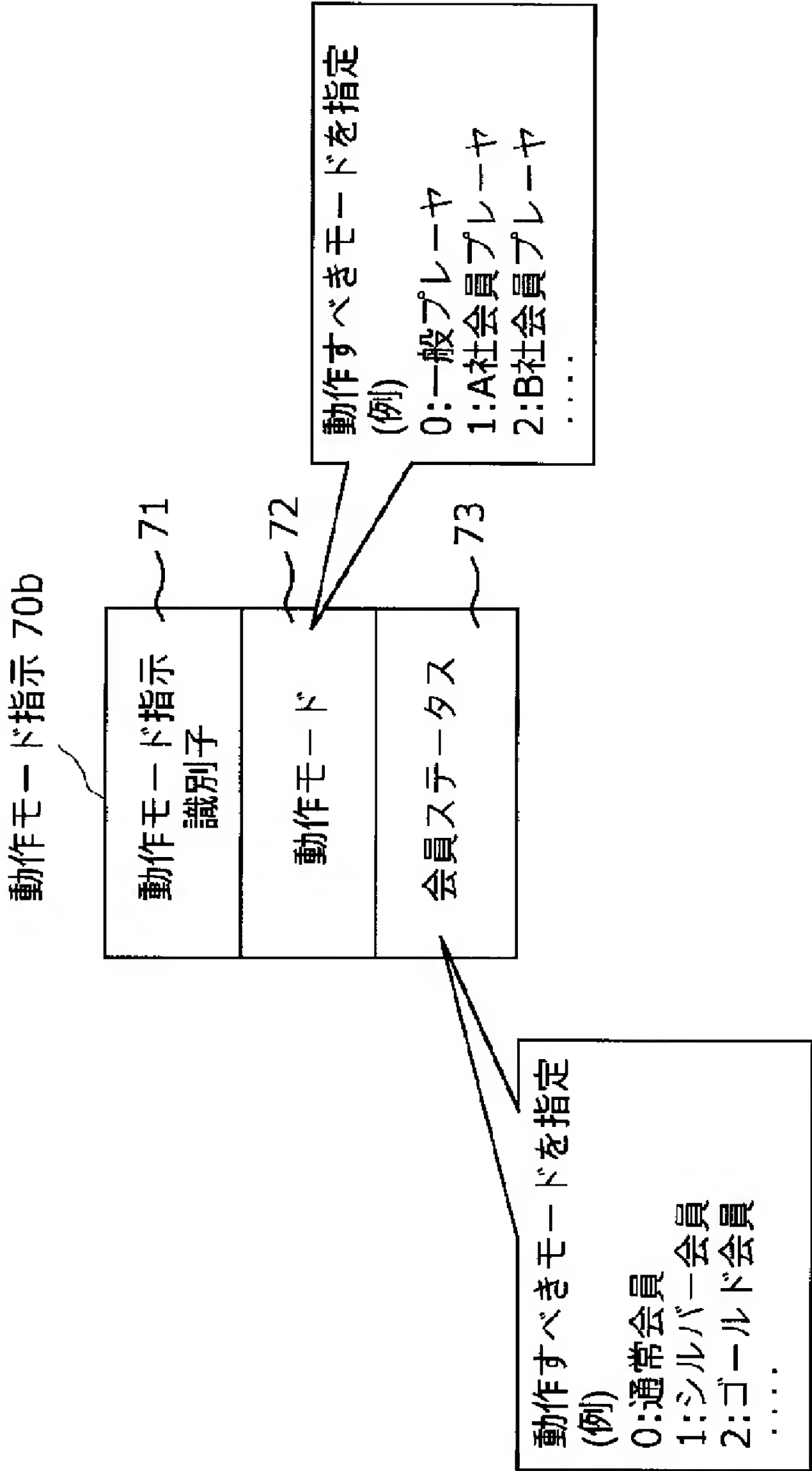












【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 1つの端末が一般用の端末として動作したり、会員専用の端末として動作したりすることができる変身可能なコンテンツ再生端末を提供する。

【解決手段】 コンテンツ再生端末30aは、会員ユーザに配布されるカード20aが挿入されるICカードスロットと、カード20aに予め保持されるユーザが属するグループを示す会員証2020に基づいて、動作モードを設定するアプリ／表示データ取得部304と、アプリ／表示データ取得部304cの設定結果に応じて、異なる態様でコンテンツを再生するレジデントプレーヤアプリ実行部305aおよび会員用プレーヤアプリ実行部308aとを備える。

【選択図】 図2

出願人履歴

0 0 0 0 0 5 8 2 1

19900828

新規登録

大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地

松下電器産業株式会社